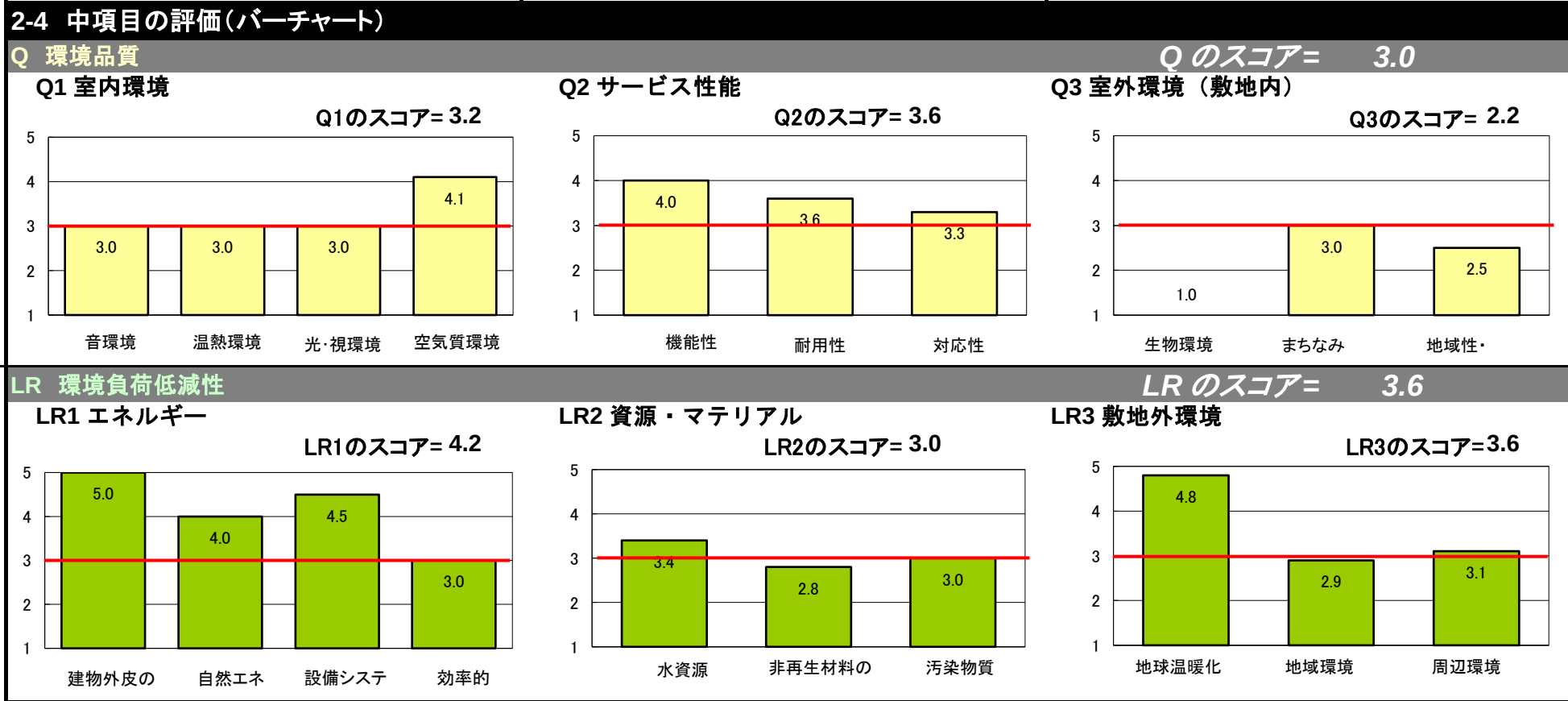
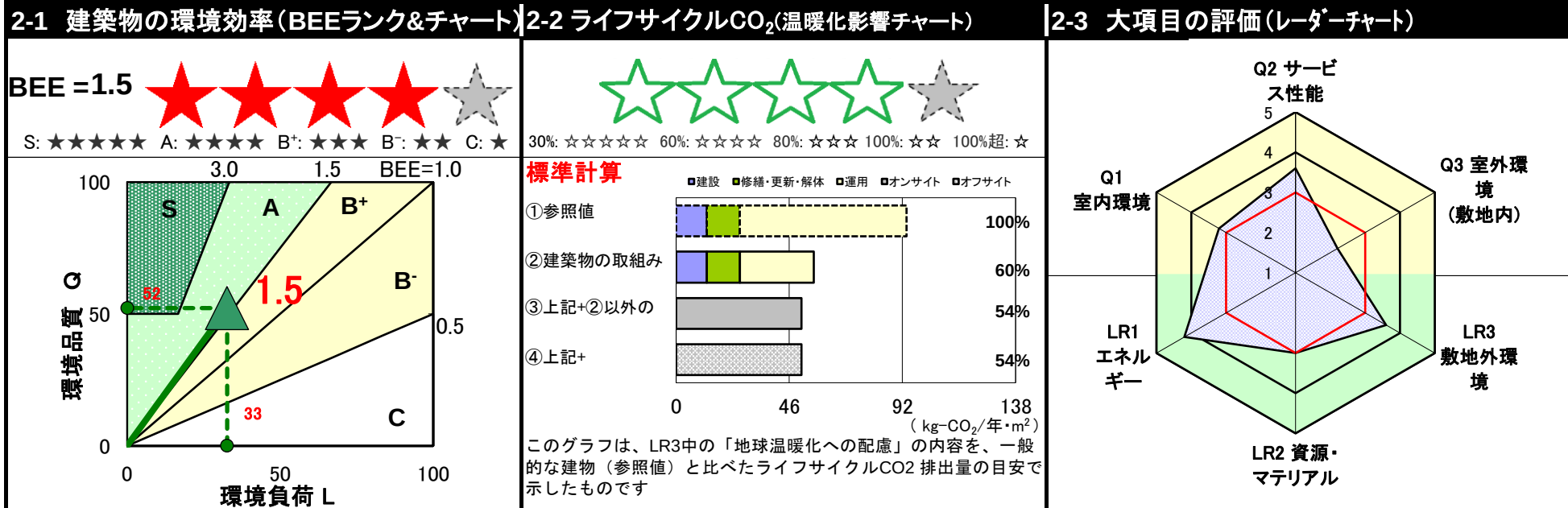


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吉岡コミュニティ供用施設	階数	地上1階 地下0階
建設地	神奈川県綾瀬市吉岡字芦久保2316 番地2 他1	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	25 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,368 時間/年(想定値)
建物用途	集会所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年11月 予定	評価の実施日	2025年2月14日
敷地面積	2,544 m ²	作成者	さくら設計
建築面積	603 m ²	確認日	2025年2月14日
延床面積	494 m ²	確認者	さくら設計



3 設計上の配慮事項		
総合 神奈川県綾瀬市に計画された地上1階建て、RC造の公民館。 断熱性能を高めるとともに、高効率設備や節水器具を採用することでライフサイクルCO ₂ 排出量の削減に務めた。 また、コミュニティスペースにはトップライトを設け、明るく快適な空間となるよう配慮した。		その他 特になし。
Q1 室内環境 化学汚染物質対策として、内装材及び取付接着剤は全て☆☆☆F4を採用した。	Q2 サービス性能 建築物移動等円滑化基準を満たし、建築基準法の25%増の耐震性を有することで、安全でみんなが利用しやすい建築物とした。	Q3 室外環境 (敷地内) 接道部を積極的に緑化するとともに、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている外観とすることで良好な景観を形成した。
LR1 エネルギー 高効率の設備を採用することで運用時の消費エネルギー削減に努めた。	LR2 資源・マテリアル 水資源保護として自動水栓や節水型便器を採用。 躯体と仕上げ材が容易に分別できるようGL工法を採用し、部材の再利用可能性向上に努めた。	LR3 敷地外環境 適切な量の自転車置き場、駐車場を確保し、交通負荷制御に努めた。 光害対策として、屋外広告を行わず敷地外環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される